

2023年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 民主・市民ネット

伝票番号

37

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
2023年 9月18日		2023年9月19日		・ 調査研究費 ・ 研修費
	氏 名	金 額		受領年月日
1	見付 宗弥	131,170円		2023年9月19日
2	高橋 千晶	131,170円		2023年9月19日
3				
4				
5				
支払金額合計		262,340円		
旅行の目的 第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 参加のため				
用務地 北九州市				
旅 行 の 行 程		旅費の内訳（1人当たり）		
10/24	函館市→（羽田）→北九州市	空港連絡バス	北九州空港→小倉駅 往路 710円	
10/25	北九州市滞在	J R		
10/26	北九州市→（羽田）→函館市	航空賃	92,460円	
		日 当	9,000円	
/		宿泊費	20,000円	
/		参加費	9,000円	
/		その他		
/		合 計	131,170円	

2003 年 7 月 19 日

見付宗弥様



内訳: 1. ZLAWA-40 (2.95 - 11°), AND=23.5 (10.1-13.1)
2. ZLAWA-22 (1.41 - 7.1), AND=7.1 (4.0-10.0)

上記の金額正に領収いたしました。

取扱者印

玉井清治

〒041-0852 函館市鍛冶1丁目11番8号

電話 (0138) 86-5225

ご入金種別

現金 ¥

クレジットカード ￥

銀行振込 ￥

※領收責任者及び取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効です。

55 年 月 19 日

氏三 千氏三 高橋千晶様



内訳: ① 24,000円 (24,000円) ② 24,000円 (24,000円) ③ 24,000円 (24,000円) ④ 24,000円 (24,000円) ⑤ 24,000円 (24,000円) ⑥ 24,000円 (24,000円) ⑦ 24,000円 (24,000円) ⑧ 24,000円 (24,000円) ⑨ 24,000円 (24,000円) ⑩ 24,000円 (24,000円) ⑪ 24,000円 (24,000円) ⑫ 24,000円 (24,000円) ⑬ 24,000円 (24,000円) ⑭ 24,000円 (24,000円) ⑮ 24,000円 (24,000円) ⑯ 24,000円 (24,000円) ⑰ 24,000円 (24,000円) ⑱ 24,000円 (24,000円) ⑲ 24,000円 (24,000円) ⑳ 24,000円 (24,000円) ㉑ 24,000円 (24,000円) ㉒ 24,000円 (24,000円) ㉓ 24,000円 (24,000円) ㉔ 24,000円 (24,000円) ㉕ 24,000円 (24,000円) ㉖ 24,000円 (24,000円) ㉗ 24,000円 (24,000円) ㉘ 24,000円 (24,000円) ㉙ 24,000円 (24,000円) ㉚ 24,000円 (24,000円) ㉛ 24,000円 (24,000円) ㉜ 24,000円 (24,000円) ㉝ 24,000円 (24,000円) ㉞ 24,000円 (24,000円) ㉟ 24,000円 (24,000円) ㊱ 24,000円 (24,000円) ㊲ 24,000円 (24,000円) ㊳ 24,000円 (24,000円) ㊴ 24,000円 (24,000円) ㊵ 24,000円 (24,000円) ㊶ 24,000円 (24,000円) ㊷ 24,000円 (24,000円) ㊸ 24,000円 (24,000円) ㊹ 24,000円 (24,000円) ㊺ 24,000円 (24,000円) ㊻ 24,000円 (24,000円) ㊼ 24,000円 (24,000円) ㊽ 24,000円 (24,000円) ㊾ 24,000円 (24,000円) ㊿ 24,000円 (24,000円)

上記の金額正に領収いたしました。

取扱者印

玉井清治

〒041-0852 函館市鍛冶1丁目11番8号

電話 (0138) 86-5225

ご入金種別

現金 ¥

クレジットカード ￥

銀行振込	¥
------	---

※領収責任者及び取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効です。

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

ミツケ ヒロヤス 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2023年10月24日

便名 FLIGHT

ANA 554

座席
SEAT

19D

照会番号 SG2H101

TSV45

BP BP5WZ6

BN 39

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

ミツケ ヒロヤス 様

行先 DESTINATION

北九州
KITAKYUSHU

搭乗日 DATE

2023年10月24日

便名 FLIGHT

ANA 3883

座席
SEAT

14D

照会番号 SG2H102

スターフライヤーによる連航

TSV45

BP B390BP

BN 10

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

ミツケ ヒロヤス 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2023年10月26日

便名 FLIGHT

ANA 3882

座席
SEAT

12A

照会番号 H286001

スターフライヤーによる連航

VV01C

BP B13SXZ

BN 77

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

ミツケ ヒロヤス 様

行先 DESTINATION

函館
HAKODATE

搭乗日 DATE

2023年10月26日

便名 FLIGHT

ANA 557

座席
SEAT

16H

照会番号 1F786002

SV45J

BP BT5173

BN 83

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

タカハシ チアキ 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2023年10月24日

便名 FLIGHT ANA 554

座席
SEAT

20D

照会番号 MFYEXY01

TSV45

BP BR41Y2

BN 188

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

タカハシ チアキ 様

行先 DESTINATION

北九州
KITAKYUSHU

搭乗日 DATE

2023年10月24日

便名 FLIGHT ANA 3883

座席
SEAT

15D

照会番号 MFYEXY02

スターフライヤーによる連航

TSV45

BP BLD50X

BN 24

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

タカハシ チアキ 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2023年10月26日

便名 FLIGHT ANA 3882

座席
SEAT

27F

照会番号 F61XD001

スターフライヤーによる連航

VV010

BP B2H7FN

BN 124

ご搭乗案内
BOARDING INFORMATION

タカハシ チアキ 様

行先 DESTINATION

函館
HAKODATE

搭乗日 DATE

2023年10月26日

便名 FLIGHT ANA 557

座席
SEAT

17H

照会番号 F61XD002

SV45J

BP BE4DFG

BN 89

空港 券売機 0.2号機
No. 80790

領収書 Receipt
民主市民ネット見何奈 様

金額 ¥710

(消費税を含んでいます)

但し、バス乗車券代として上記の金額を領収いたしました。

2023年10月24日



北九州空港案内所
西鉄バス北九州株
北九州市小倉北区砂津一丁目1番
0570-00-1010

空港 券売機 0.2号機
No. 80791

領収書 Receipt
民主市民ネット高橋伸一 様

金額 ¥710

(消費税を含んでいます)

但し、バス乗車券代として上記の金額を領収いたしました。

2023年10月24日



北九州空港案内所
西鉄バス北九州株
北九州市小倉北区砂津一丁目1番
0570-00-1010

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月20日

民主・市民ネット 見付宗弥 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月20日

民主・市民ネット 高橋千晶 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 9,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)



領収証 RECEIPT

登録番号：T8010701012863

No. 2023-8792-00699

発行日：2023年11月30日

民主・市民ネット 見付宗弥 様

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 20,000*

株式会社JTB
北九州支店
北九州市小倉北区堺町1-1-1
JTB小倉ビル7階〒802-0005

2023年10月24日～2023年10月26日

但し 西鉄イン小倉宿泊代金として（10/24、10/25）

（第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州）

※軽減税率対象

取引日	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
	宿泊代金	¥ 20,000	1	¥ 20,000		10%
合計				¥ 20,000		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥ 20,000	¥ 1,818	
(10%対象)				¥ 20,000	¥ 1,818	

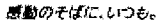
Amarysにより10月24日、銀行振込にて入金

出納責任者	
取扱者	



収入
印紙

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。



領收証 RECEIPT

登録番号：T8010701012863

No. 2023-8792-00702

発行日：2023年11月30日

民主・市民ネット 高橋千晶 様

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 20,000*

株式会社JTB
北九州支店
北九州市小倉北区堺町1-1-1
JTB小倉ビル7階 〒802-0005

2023年10月24日～2023年10月26日

但し 西鉄イン小倉宿泊代金として（10/24，10/25）

(第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州)

※軽減税率対象

取引日	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
	宿泊代金	¥ 20,000	1	¥ 20,000		10%
合計				¥ 20,000		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥ 20,000	¥ 1,818	
(10%対象)				¥ 20,000	¥ 1,818	

Amarysにより10月24日、銀行振込にて入金

出納責任者	
取扱者	

收入
印紙

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

出張報告書

2023年 10 月 31 日

民主・市民ネット
会長 道畑 克雄 様

出張者氏名 見付 宗弥
高橋 千晶

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	2023 年 10 月 24 日 ～ 2023 年 10 月 26 日 (3 日間)		
2 用 務 地	①	10 月 24 日	北九州 市
	②	10 月 25 日	北九州 市
	③	10 月 26 日	北九州 市
	④	月 日	市・町
3 出張概要	第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州 参加		
4 所 見	別紙参照		
備 考			

■第18回全国市議会議長会研究フォーラム 所見

見付宗弥

- ◇開催日 2023年10月25日、26日
- ◇会場 西日本総合展示場新館（北九州市小倉北区浅野3-8-1）
- ◇大会テーマ 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

1. 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

講師：大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博

◆講演要旨

- 「今、地方議会は岐路に立っている」
- 現在の議会に欠けている3点。①「議場での真剣な議論」②「税の議論」、③「住民の声」
- ①「議場での真剣な議論」：市民に見える公の場、議場での議論により、物事が変われば、市民が関心や期待をもつことにつながる。
- ②「税の議論」：税率は自治体の状況により、上げ下げできるが、税率を変えてはならないという固定観念にとらわれているのではないか。
- ③「住民の声を聴けない、聞こえない」
- さらに「教育委員会にちゃんと目をくばること」が必要
- 教育現場の疲弊、いじめ、不登校、職員のなり手不足
- 先生が忙しすぎる、「ブラック職場」となっている。
- 教育委員会は仕事を減らすか、教員を増やすかすべき。
- 私が知事の時代には希望する市町村と税源を折半し、法律で決まっている定数以上に独自に教員を増員。
- もし、教育委員会が真剣に取り組んでいないとすると、教育長や教育委員の選任に同意した議会の責任。

2. パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター：日本経済新聞社 編集委員 谷 隆徳

パネリスト：西南学院大学法学部教授 勢一 智子

：近畿大学法学部教授 辻 陽

：Stand by Women 代表 濱田 真里

：北九州市議会議長 田仲 常郎

◆発言要旨

- コーディネーター：地方議会の課題に対する対応策は？

- 勢一氏：高齢者ほど投票率が高く、若い世代ほど低い年代別の投票率をみると地方議会では地域社会を映していないのでないか。
- 辻氏：小規模自治体のなり手不足問題は「議員報酬と専門化」議員活動に専念できる環境が必要。
- 濱田氏：今春の統一選挙で子育て中の女性候補を支援するプロジェクトを立ち上げた。
- 田仲氏：平成30年から市民に議会を身近に感じてもらうため議員と市民が意見交換を行う「カフェトーク in 北九州」を開始。
- コーディネーター：①「多様な人材を議会に参画してもらう方策」、②議会への住民の理解、関心を高める方策」
- 辻氏：大選挙区制（市全体を1区とし、多数の候補者から1名を選ぶ）では政党からの支援がない議員も当選しやすく、議員の多様化も生まれやすい。ただ、大規模自治体の議員はチラシやHPなど広報費に充て、議員としての実績をアピールしている。
- 濱田氏：有権者によるハラスメント（票ハラ）には第三者による介入が効果的。
- 田仲氏：議会への関心を深める観点から小中学生を対象とした取り組みを実施。中学生には「ドリームサミット中学生議会」を実施し、中学生からの質問に対し、市長や執行部、議長が答弁する。小学生には架空の給食大臣を選ぶために実際の投票箱などを使った模擬選挙を行い、開票作業も自ら行うなどの体験を通じて選挙の仕組みを学ぶ機会となっている。
- 勢一氏：人口減少社会が到来し、限られた財政の中で地域の将来をどう描くのか、限られた地域の資源をどこに投入していくかを地方議会でも議論すべき。議員の多様性は必須で、特に議員の少ない世代や性別を補っていく工夫が必要であり、より多くの人が立候補できるような環境の整備を全国的に取り組むべき。
- 濱田氏：ハラスメント対策として研修、条例や倫理規定等の整備、相談窓口の設置が重要。令和3年6月にハラスメント対策が議会に対して義務付けられた。全国全ての自治体、議会でも個別に仕組みを作ることは難しいので、都道府県単位など広域に相談窓口を設置するなどの方法もある。
- 田仲氏：北九州市の議員提案条例では議員提案を検討するにあたり、多くの市民の意見を聞く機会を設けている。
- 勢一氏：①人口減少社会の下、議会が何を担って、何をやっていくのか住民に提示することが重要。②過小代表の状況の修正。女性議員や子育て世

代の議員を増やす。あるいはそのような人たちの声を取り入れる方法を考える。③主権者教育

- 辻氏：事務局体制の強化。他自治体議会との連携など事務局間で機関等の共同設置ができれば政策立案もしやすくなる。

3. 課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」

コーディネーター：大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭

事例報告者

：登別市議会議員 辻 弘之

：一般社団法人 Woman Shift 理事 目黒区議会議員 たぞえ 麻友

：札幌市議会議員 永野 慶一郎

◆発言要旨

- 辻氏：地方議会養成講座の開講。50名の登録があり、2割が女性、40代以下が4割、7割が生産年齢人口からの登録。職種は行政職員が13名、医療福祉職11名、会社員10名。講座は計6回開催し、大学教授、現職首長、地域住民などを講師として学ぶ機会を設けた。統一選では50名のうち30名が立候補し、20名が当選した。
- たぞえ氏：「届きづらい女性の声を政治につなぎ、一つずつ実現していく」を掲げ平成27年8月に立ち上げ。北海道から九州まで44自治体50名の女性議員が参加。「女性議員はなぜ増えないのか」との問題に対し①「そもそもなろうと思わない」②「なり方を知らない」③「なっても辞めてしまう」と3本柱に沿って活動。
- 永野氏：平成31年4月の統一選で無投票選挙となったが、4年かけてその克服を目指した。令和5年9月に「議員定数適正化及び議員報酬等調査特別委員会」を設置。18歳以上の市民を対象に定数、報酬、選挙や市議会に対するアンケートを実施したが、若い世代の回答率が低く、政治に興味がないことが伺えた。春の統一選では定数12名に対し14名が立候補した。
- 辻氏：なり手不足解決に向けては「働きかけるターゲット層をどこに置くか」「社会をどう変えていくべきか」「その手法」などの議論が不足している。全国の市議会でも共通して実践できることは「次世代の地域リーダーや思いをもつ人材を育てていくこと」。多様な価値観をもつ議会に変容しないと議会の課題解決力が低下する。働き方の整理が必要。フリーランスと同程度の社会保障や税制措置が必要。
- たぞえ氏：「ママの議員インターン」令和元年3月にスタートし8月現在約

140名のママが体験している。子育てしている女性に地方議員ヘイインターンに入ってもらおう。ママは地域や政治の知識を深め、議員は市民の声を直接聞くことができるなど相乗効果が生まれている。

- 永野氏：議員の兼業兼職に関する規制が緩和されたが、請負金額が300万円は低い。地方議員の多くは個人事業主が多く、会社員が立候補するハードルは高い。会社員でもやる気のある人が議員を目指せる環境づくりが必要。
- コーディネーター：なり手不足問題を克服するための提言を
- 辻氏：議会改革は議員が社会を変えていくために仕組みをより良くする手段であり、その後に結果を出すことが重要。多様性とはマイノリティーのためではなく、私たちのくらす地域を強くするために不可欠。
- コーディネーター：キーワードは「育てる」「働き方」ではないか。多様性が議会の存在意義になり、それが政策や監視力の強化につながる。

◆所見

今回、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとした大会に参加し、低い投票率、年代別の投票率（高齢者ほど高く、若い世代ほど低い）の課題、若者世代や女性議員が少ない、なり手不足、主権者教育の必要性など函館市議会における課題が全国的に共通した課題であることが改めて認識し、具体的な解決策のヒントを得ることができた。

勢一氏の指摘の中に「人口減少社会の下、限られた財源の中でそれらの資源をどこに投入していくのかを議論するのは地方議会である」とあったが、まさにその通りである。今こそ決定機関である議会の役割が問われている。

特になり手不足の議論の中で、辻氏、永野氏の指摘にあった「フリーランスと同程度の社会保障や税制措置」「会社員でもやる気のある人が議員を目指せる環境づくり」については一つの議会で解決できることではなく、全国的に法制度を含め具体的に検討する必要があると考える。

もう1点、基調講演の中で教育現場に関して「先生が忙しすぎる。ブラック職場」との指摘があったが、函館市においても同じことがいえると思う。教員のやる気と善意に頼る現状の教育現場は限界にあると考える。片山氏は知事時代の経験として独自に定数以上に教員を増員したとのことだが、「仕事を減らすか、教員を増やす」しか解決策はないのではないかと。

最後に辻氏の指摘にあった「議会改革は議員が社会を変えていく仕組みをよりよくするための手段であり、その後に結果を出すことが重要。多様性とは地域を強くするために不可欠」との指摘は函館市議会にとっても重要である。

1. 研修の概要

(1) 日時：2023 年 10 月 25 日(水)～26 日(木)

(2) 会場：西日本総合展示場新館（北九州市小倉北区浅野 3-8-1）

(3) 内容：①基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

講師 大正大学教授兼地域構想研究所長 片山善博さん

②パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

※コーディネーターおよびパネリストは別紙参照

③課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」

※コーディネーターおよびパネリストは別紙参照

2. 所見

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」とテーマに、各自治体をもつ課題が共有でき、具体的に取り組みを進めている議会から実践報告を聞くことができました。

まず、鳥取県知事を務められた片山善博さんの講演から、本当の意味での議会改革とは、①もっと議場（公開）の場での真剣な議論が必要であること、②「税」は常に変動するものとして議論を積極的に行うこと、③住民の声をしっかり聴くことであるというお話に共感しました。また、疲弊する学校現場や増加し続ける不登校・いじめを解決するには、教育委員会へもっと目配りをする必要がある。働き方改革を進める方法「人を増やすか」「仕事を減らすか」は教育委員会の仕事である。また、教育委員は重要な責務をもち、教育委員を任命する議会にも責任がある。教育委員には情熱があるか、責任感があるか、委員として取り組む時間的余裕があるかを面談するなどしっかりチェックすべきとの示唆を頂きました。教育委員だけでなく、議会では様々な委員の選任を行っているが、確かにどのような人物なのか新任、再任問わず経歴やその役職で何に取り組みたいのかを知る必要がある尾ではないかと考えました。

パネルディスカッションおよび課題討議を通して、全国どの自治体でも課題となっている議員のなり手不足をどう解消するか考えました。解決の糸口として、①女性や若者をどのように増やすか（投票率、立候補）、②議員活動に専念できる環境をいかに整えるか（議員報酬と専門化）、③ハラスメント対策（有権者による票ハラ、先輩議員によるパワハラ、セクハラ等様々な観点があります。

一番大切なことは、市民に関心を持っていただくこと。そのためには、現在行っている広報誌や YouTube 配信の他にも、実際に傍聴に足を運んでもらえるような曜日や時間帯の工夫、議員が積極的に地域に出向き議会報告を行う、子どもたちの議場体験、主権者教育など、函館市議会でも取り組めることがたくさんあると思いました。

第18回

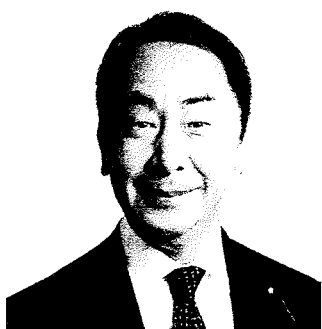
全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

統一地方選挙の検証と地方議会の課題

◆ 主催者挨拶



全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿 ぼう やすなが

第18回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ北九州市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後のさらなる取り組みが求められているところです。

そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

有識者の方々やご参加いただいた皆様方により活発な議論が交わされ、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆ プログラム

■ 第1日目 10月25日(水) [会場:西日本総合展示場 新館]

11:30	開場・受付
13:00	開会式
13:20	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
14:20	休憩
14:40	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆 徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢 一 智子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
17:15	意見交換会 [リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」]
18:15	意見交換会終了
18:30	視察Ⅱ

■ 第2日目 10月26日(木) [会場:西日本総合展示場 新館]

8:15	開場
9:00	課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江 藤 俊 昭 大正大学社会共生学部公共政策学科 事例報告者 辻 弘 之 登別市議会議長 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT理事 目黒区議会議員 永野 慶一郎 枕崎市議会議長
11:00	閉会式
11:30	視察Ⅲ

※10月24日(火) 視察Ⅰ

◆ 基調講演



講師

片山 善博 かたやま よしひろ

大正大学教授兼地域構想研究所長

1951年岡山市生まれ。1974年 東京大学法学部卒業、自治省入省。国税庁能代税務署長、自治省国際交流企画官、自治省固定資産税課長などを経て、1999年 鳥取県知事。2007年 慶應義塾大学教授。2010年 総務大臣。2017年 早稲田大学大学院教授。2022年 大正大学教授兼地域構想研究所長。併せて、鳥取大学客員教授、デジタル文化財創出機構理事、角川文化振興財団評議員などを務める。【主な著書】「知事の実験」／2020(文藝春秋)、「片山善博の自治体自立塾」／2015(日本経済新聞出版社)など。

◆ パネルディスカッション



コーディネーター

谷 隆徳 たに たかのり

日本経済新聞社編集委員

1961年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2005年から地方部編集委員、06年から13年間論説委員を兼務。現在は編集局編集委員。総務省、国土交通省、都庁などを担当し、地方行政全般のほか、地方分権、まちづくり、都市政策などを長年取材。全国知事会地方分権研究会委員、総務省過疎地域優良表彰制度審査委員などを歴任。共著に「列島破産」「さらば東京」「住民サービスここが一番」(ともに日本経済新聞社)など。現在、自治体向け雑誌「日経グローバル」で「地方自治を考える」を連載中。



パネリスト

勢一 智子 せいいち ともこ

西南学院大学法学部教授

山口県下関市出身。1998年3月九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、同年4月に西南学院大学法学部専任講師に着任、助教授を経て、2007年より現職。専門分野は、行政法、環境法、地方自治法。国の審議会等では、第31・32次地方制度調査会委員、地方分権改革有識者会議議員、同提案募集検討専門部会構成員、同計画策定ワーキンググループ座長、国地方係争処理委員会委員、地方公共団体金融機構経営審議委員、中央環境審議会委員などを務める。



パネリスト

辻 陽 つじ あきら

近畿大学法学部教授

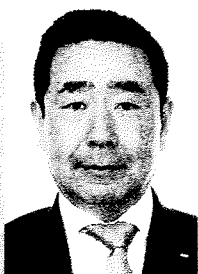
1977年大阪府生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士(法学)。近畿大学法学部講師、准教授を経て、2016年4月より現職。専門は政治学、行政学、地方自治論。特に地方議会と首長をめぐる政治制度に強い関心をもつ。著書に「日本の地方議会―都市のジレンマ、消滅危機の町村」(中公新書、2019年)、「戦後日本地方政治史論―二元代表制の立体的分析」(木鐸社、2015年)、共著書に「テキストブック地方自治(第3版)」(東洋経済新報社、2021年)など。



パネリスト

濱田 真里 はまだ まり

Stand by Women代表/女性議員のハラスメント相談センター共同代表
専門は議員に対するハラスメント。2021年に女性による女性議員・候補者の選挙サポートを行う団体 Stand by Womenを設立。これまでに100人以上の議員や候補者に対するハラスメントのヒアリングや相談対応を実施。内閣府「令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材」等の作成に関する検討会構成員。2022年に子育て中の候補者をサポートする「こそだて選挙ハック!プロジェクト」を始動。2023年に4月の統一地方選挙に向けて日本初の議員向け相談窓口「女性議員のハラスメント相談センター」を設立。



パネリスト

田仲 常郎 たなか つねお

北九州市議会議員

1966年生まれ。北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業。平成21年2月から北九州市議会議員を務め、連続4回当選。現在4期目。その間、総務財政委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。令和5年10月から、第24代北九州市議会議員に就任。
議員活動の傍ら、NPO法人則松金山川コスモス会理事長(平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)、八幡西地区牽道連盟理事、北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長、北九州市なぎなた連盟会長、保護司など、ボランティア活動や青少年育成を行っている。

◆ 課題討議



コーディネーター

江藤 俊昭 えとう としあき

大正大学社会共生学部 公共政策学科教授

中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。第29次・第30次地方制度調査会委員、「町村議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)、全国町村議会議員会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長、全国市議会議員会90年史編集委員会、有識者会議議長、等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議員会「町村議会議員のなり手不足対策検討会」委員、議会サポーター・アドバイザー(滝沢市、四日市ほか多数)。「月刊 ガバナンス」などで連載中。



事例報告者

辻 弘之 つじ ひろし

登別市議会議員

1981年生。大阪府豊中市出身。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士・精神保健福祉士・社会教育士・防災士。阪神淡路大震災での被災経験から社会福祉の道を志し、北海道登別市内にて医療ソーシャルワーカーとして就職。公的扶助の運用課題の解決を目指し、26歳で初当選。現在5期目。各委員長、監査委員等を歴任し、議長として早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング全国1位に導く。2023年統一地方選挙後、議長に再任。



事例報告者

たぞえ 麻友 たぞえ まゆ

一般社団法人WOMAN SHIFT理事/目黒区議会議員

1982年東京都目黒区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中にヨハネスブルグサミットに参加。経営コンサルティング会社で3人の子供を出産。保育園問題やマミートラックに悩む。2015年、実母の末期がん発覚を契機に、退職と出馬を決意。目黒区議会議員選挙に出馬、当選。WOMAN SHIFTの立ち上げから参画し、現在は理事。2023年、三度目の当選。現在は子育て支援、教育、DX、環境などの政策を展開。児童虐待問題については共著「子どもの虐待はなくせる!」を出版。



事例報告者

永野 慶一郎 ながの けいいちろう

枕崎市議会議員

1971年12月生まれ。鹿児島市立鹿児島商業高校を卒業。2013年度枕崎商工会議所青年部会長、鹿児島県商工会議所青年部連合会副会長。イベントの企画・運営やまちづくり事業に携わり、2015年4月市議会議員選挙において初当選、以来連続3回当選。現在3期目。2019年5月から総務文教委員長、2021年5月第46代枕崎市議会議員に就任。改選を経て2023年5月第47代枕崎市議会議員に再任。「無投票・定数割れからいかに回復するか 無投票選挙の克服をめざした4年の歩み」地方議会人2022年12月号。

参考様式第 1

2023年度 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 民主・市民ネット

伝票NO.

38

支出年月日		区 分	
令和 5 年 9 月 24 日		調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費	
支払先 amazon.co.jp		支 払 金 額	
		¥2,310	
摘 要 （品名）	数量	単価	金 額
エビデンスに基づく自治体政策入門	1	2,310	¥2,310

領収証等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に添付のこと（重ならないように留意）

【領収書貼付欄】

セブン-イレブン
函館臨港通店
北海道函館市港町1丁目34-1

電話：0138-45-8255 ｼﾞﾈﾗﾙ#1

2023年09月24日(日) 14:18 責116

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｼｮｯﾌﾟﾝｸﾞ払込領収書

お客様控

民主・市民ネット 遠畑克雄 様

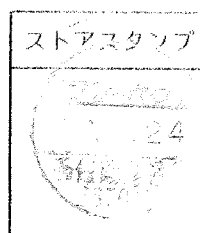
¥2,310-

払込先名 amazon (WELLNET)

お客様用連絡先
www.amazon.co.jp/contact-us

払込票番号
7243-94935-5821

2023年09月24日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。

※インボイスの発行はお客様からサービス事業者にお問合せ下さい。

amazon.co.jp

注文番号503-2395948-0949446の詳細
このページを印刷してご利用ください。

注文日: 2023年9月22日
Amazon.co.jp 注文番号: 503-2395948-0949446
ご請求額: ¥2,310

出荷準備中

注文商品

1点 エビデンスに基づく自治体政策入門—ロジックモデルの作り方・活かし方, 佐藤 徹
販売: アマゾンジャパン合同会社

コンディション: 新品

価格
¥2,310

お届け先住所:
道畑克雄

配送方法:
通常配送

支払い情報

支払い方法:
コンビニ・ATM・ネットバンキング・電子マネー払い

商品の小計: ¥2,310
配送料・手数料: ¥0

重要なお知らせ: 重要なお知らせ: お支払い番号は、コンビニや金融機関によって呼び方が異なりますが、Eメールでお送りする11けたの番号です(注文番号とは別にお知らせします)。セブン-イレブンではお支払い番号とは別に、13けたの払込票番号が必要です。詳しくは「お支払い方法について」のページまたはヘルプページをご確認ください。

注文合計: ¥2,310

ご請求額: ¥2,310

お支払い番号発行後は、上記の「注文商品」の項目の下でもお支払い番号および「お支払い方法について」のページをご確認いただけます。

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

2023 年度

政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 民主・市民ネット

伝票番号

39

旅行承認年月日		支払年月日		区 分
2023 年 8 月 30 日		2023 年 9 月 25 日		・ 調査研究費 ・ <u>研修費</u>
	氏 名	金 額	受領年月日	
1	島 昌之	58,470 円	2023 年 9 月 25 日	
2			年 月 日	
3			年 月 日	
4			年 月 日	
5			年 月 日	
支払金額合計		58,470 円		
旅行の目的 「第85回全国都市問題会議」参加のため				
用務地				
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）		
10/11	函館市～青森県八戸市	路線バス、私鉄		
10/12	青森県八戸市滞在	J R		
10/13	青森県八戸市～函館市	航空賃		
/		日 当	9,000 円	
/		宿泊費		
/		参加費	10,000 円	
/		その他	旅行パック 39,470 円	
/		合 計	58,470 円	

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

領 収 証 民主市民ネット島昌元 様 No. 2230

金 額

739470-

内 訳

現 金

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但 JR 宿務代

2023 年 9 月 25 日 上記正に領収いたしました

〒040-0072

函館市亀田町

株式会社 カネコ

トラベルサービスはとだて

登録番号

TEL (0138) 44-0088

FAX (0138) 45-7100

収入印紙

GR1622

会議参加費 領収書

民主市民ネット 島昌元 様

金 10,000 円

但、「第 85 回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和 5 年 10 月 12 日

第 85 回全国都市問題会議実行委員会

会 長 熊 谷 雄 一

(参考様式 別紙1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容
会議等の名称	第85回全国都市問題会議
会議等の目的	都市自治体の文化芸術・スポーツ政策とは、広い意味での「まちづくり」そのものであり、都市の魅力向上と持続的な発展のための要として位置づけられる。 この文化芸術・スポーツの持つ今日的意義と可能性について検討を加え、そこで都市自治体がどのような役割を担うべきかを考察する。
日 時	2023年10月12日(木) 9:30 ~ 16:30 10月13日(金) 9:30 ~ 12:00
場 所	江戸市公会堂
出席者	出席議員氏名 島 昌之
	講師等の氏名 東京芸術大学長 日比野克彦ほか
	その他参加者 1800人
支出内訳	
旅 費	旅行バック 39,470円
会議参加費	会議参加費 10,000円
日 当	3,000円 × 3日分 = 9,000円 9,000円
合 計	
	58,470円

出張報告書

2023年10月31日

民主・市民ネット
会長 道畑克雄 様

出張者氏名

島 昌之

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	2023年10月11日～2023年10月13日(3日間)
2 用務地	① 10月12日 青森県八戸 (市) 町
	② 10月13日 青森県八戸 (市) 町
	③ 月 日 市・町
	④ 月 日 市・町
3 出張概要	「第85回全国都市問題会議」への参加
4 所見	別紙のとおり
備考	

第85回 全国都市問題会議 レポート

函館市議会 民主・市民ネット 島 昌之

- 1 会議名 第85回全国都市問題会議
- 2 日 時 令和5年10月12日（木）・13日（金）
- 3 会 場 八戸市公会堂
- 4 参集者 全国の市区長・市区議会議員及び関係者（約1800名）

はじめに

都市自治体の文化芸術・スポーツ政策とは、広い意味での「まちづくり」そのものであり、都市の魅力向上と持続的な発展のための要として位置づけられる。

この文化芸術・スポーツの持つ今日的な意義と可能性について検討を加え、そこで都市自治体がどのような役割を担うべきか考察することを目的に「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマに開催された。



八戸市公会堂前

基調講演

「アート役割って何だろう？」というテーマで、アーティストでもある日比野克彦東京芸術大学長による基調講演があり、アートが人に及ぼす機能、可能性、現代社会の中でアートの働きを「3つの捉え方」で分析し話をされた。

1つ目の捉え方は、アートとは「生きる力」と捉えてみる。時間は前にしか進まないが、想像力を備えているアートには、時間に制御されてしまっている私たちの身体の中の時間を柔軟に伸ばしたり、縮めたりすることが出来る機能がある。アートは、人が人らしく生きていくためにとても重要な役割を持っている。

2つ目の捉え方は、アートとは「多様性のある社会を築く基盤」だと捉えてみる。他者との違いがその人の個性になるというアートとの価値観は、多様な価値観の存在を認識できるフィールドになる。

3つ目の捉え方は、アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」と捉えてみる。人のこころを動かすことはアートの機能、役割、特性といえる。一人ひとりの気持ちの変化、こころの変化がその人の行動を変容させていくことになる。

時間は前にしか進まないが、私たちの想像する力は、昔のことを思い出したり、明日のこと、将来のことに想いを寄せたりすることができる。想像力を備えているアートは人の生きる力となっている。

主報告

開催都市である八戸市の熊谷雄一市長より「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」と題して主報告があった。

八戸市（人口218,732人 令和5年9月30日現在）も、モータリゼーションの進展、規制緩和に伴う商業機能の郊外移転、ライフスタイルの多様化、物流やネット通販の伸長による消費行動の変化などで、旧市街地の商業機能が衰退していった。そうした中で、201

1年、新たな交流と創造の拠点として「八戸ポータルミュージアムはっち（以下、はっち）」を開館した。はっちは、地域資源の魅力を創出・発信し、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育て支援といった各施策を一体にした施設である。はっち運営のキーコンセプトは「その場に行かなければ得られないもの、出会えない人やコトが集まる場を、市民が観客としてでは



八戸市熊谷雄一市長による主報告

なく、当事者として自らも参加したり創作したりできる形でつくること。」

こうして、「酔っ払いに愛を～横町オンリーユーシアター」「八戸ブックセンター」「八戸まちなか広場マチニワ」「八戸市美術館」など、アートプロジェクトが展開された。

また、「氷都八戸」として、2019年には防災拠点機能を併せ持つ屋内スケートリンク「八戸市長根屋内スケート場Y S アリーナ八戸」、2020年には通常はアイスリンクでありながら、半日でバスケットボールコートに転換可能な民間施設「フラット八戸」が整備された。さらに、プロスポーツも盛んで地元サッカーチーム「ヴァンラーレ八戸F C」、アイスホッケーの「東北フリーブレイズ」、バスケットボールBリーグ所属の「青森ワッツ」、3×3. E X E P R E M I E R（スリー・エックス・スリー・ドット・エグゼプレミア）所属の「八戸ダイム」の4種目のプロスポーツチームが八戸市に活動拠点を置くなど、「スポーツによるまちづくり」も進められている。

熊谷雄一八戸市長は「文化とスポーツは、元来、内に閉じるのではなく、他者と交わり外へと開いていく性質を持つのであり、そのようなまちづくりにピッタリではないだろうか。」と話をされた。

一般報告（1）

文化事業ディレクター、演出家の吉川由美氏（八戸ポータルミュージアムはっちで10年間アートプロジェクトをディレクション、八戸市美術館のオープニング展「ギフト、ギフト、」のディレクターを務める）より、「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」と題して一般報告があった。

八戸市は中心街再生の起爆剤とすべく「八戸ポータルミュージアムはっち（以下、はっち）」を2011年2月に開館させたが、当時、高校生から「中心街ってどこ？」と聞かれ、ショックを受けたと話をしている。そして「若者たちの関心は、中心街よりも郊外のショッピングセンターにあり、ワクワクできる関心事をまちなかを見つけることは困難だ

ったのだろう」と話している。

しかし、八戸市職員の皆さんが、アートの力で中心市街区域を再生していこうという明確なビジョンを持っていた。そこで、吉川氏は、はっちが開館する前から3点を柱に、プロジェクトを立案した。

①中心市街地を関心空間にする。②フラットなコミュニケーションの場を創る。③地域資源の価値をみんなで見出す。こうして様々な取り組みが実行され、2018年には、はっちのある三日町の基準地価が上昇した。このことは青森県内中心部商業地で18年ぶりのことであった。

観光産業や関係人口獲得にとって「地域固有の文化」はキラーコンテンツであり、地域社会の分母を担う人づくりを意識し、地域に根ざした文化政策の在り方を考えたい、と話をされた。

一般報告（2）

長野県東御市（とうみし）の花岡利夫市長より、「標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」と題して一般報告があった。

長野県東御市は、平成16年に東部町と北御牧村の2町村が合併して誕生した市である。人口は29,299人（令和5年10月1日現在）で、標高差が1,500mにも及ぶ扇状地が広がっている。そのため、平地が少ないことが欠点として捉えられていたが、この標高差を活かしワイン醸造を始め、現在では14軒のワイナリーがワイン醸造を行っている。

そして、もう一つ、標高差を活かせるものが「高地トレーニング」である。かねてより日本において水泳の高地トレーニング施設の適地を模索していた日本水泳連盟が当市に視察に訪れ、湯の丸高原の“1,750m”という標高に興味を持っていただいた。

平成29年11月に国内最高地点の全天候型400mトラックが完成し、令和元年10月には高地トレーニングのできる国内唯一の屋内プール「GMOアスリーツパーク湯の丸屋内プール」が完成し、日本オリンピック委員会水泳競技強化センターに認定された。

令和3年夏の東京2020オリンピックで競泳ニッポンが獲得した金メダルは大橋悠依選手の2つで、当時の日本代表ヘッドコーチだった平井伯昌氏からは「東御の施設があったからこそ大橋の金メダルがあった」との言葉をいただいたとのこと。

人口3万人弱の小さな自治体で、そんな自治体があることすら知らない人が多い中で、今では水泳関係者の中で知らない人はいないといっても過言ではない状況にあるとのこと。

一般報告（3）

株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長の鈴木秀樹氏より、「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」と題して一般報告があった。

鹿島アントラーズが本拠を置く地域（現鹿嶋市 人口65,417人 令和5年10月1日現在）はかつて、のどかな農漁村だったが1960年代に始まる鹿島臨海工業地帯の開発で様相が一変した。大規模な鉄鋼業、石油化学工業などの工場群、火力発電所が建ち並ぶ工場のまちとなり、それに伴い雇用が生まれた。しかし、近隣に娯楽施設がなく、若者の首都圏への流出が社会問題となっていく。「楽しい街づくり懇談会」を立ち上げ、議論を重ね、日本サッカー協会によるJリーグ構想が目にとまり、「サッカーによるまちづくり」に舵を切った。当時のプロリーグ検討委員会の川淵三郎委員長に「99.9999%不可能」

と言われながらも、1993年のJリーグ参画を果たした。それ以来、自治体、民間企業、アントラースが一体となって地域の活性化、地域振興を進めてきた。

1993年に10クラブでスタートしたJリーグの加盟クラブは現在60を数えるまでとなり、プロ野球やバスケットボールBリーグを合わせると、全国に100を超えるプロスポーツクラブが存在する。他にも、完全なプロ化には至っていないが、ジャパンラグビーリーグワン、バレーボールのVリーグ、卓球のTリーグなどが日本各地にあり、そのほとんどのクラブが本拠を置く地域に根を張り、地域の象徴的な存在となって、地域に活力を与えることを目指している。

鹿島アントラースは国内最多の20冠を重ねながら地域のシンボルとなり、地域を活性化させてきた。そして今、地域の社会課題の解決を使命と捉え、数々の事業に取り組み始めている。どのプロスポーツクラブも地域とともに生きていこうとしている。地域の活性化、発展がクラブの存亡に関わる問題であると認識している。

「自治体に望みたいのは、地域の貴重な資源であるプロスポーツクラブの有効活用であり、活用が進めば自治体だけではできないことが可能になる。社会課題を解決し、まちづくりを推進することができる。だから、もっとプロスポーツクラブの力を引き出し、使い切ってもらいたい。そのためにプロスポーツクラブは存在すると言ってもいいのだから。」と話をされた。

パネルディスカッション

会議2日目は「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマにパネルディスカッションが行われた。コーディネーターは小林真理東京大学大学院人文社会系研究科教授、パネリストは、はちのへ文化のまちづくりアドバイザーリーボード委員で合名会社imajimu代表取締役の今川和佳子氏、拓殖大学商学部教授の松橋崇史氏、静岡県沼津市長の頼重秀一氏、京都府綾部市長の山崎善也氏の4人。最初にコーディネーター及びパネリストから自己紹介と各自の取り組みについて発言があり、その後パナルディスカッションに移った。

小林真理氏からは、1970年代から展開されてきた自治体文化行政の変遷について「これまで教育委員会で主に住民個人や住民間のつながりの醸成に活用されてきた文化領域が、観光・まちづくりへと面的・空間的、領域を越えて展開されるようになってきている。ようやく文化の価値が広く認められ、不可欠な公共サービスとして再認識されるようになってきた。」等と話をされた。

今川和佳子氏からは「複合的な機能を持つ『はっち』の誕生」、「市民のマンパワーが人をつなぐ」、「郷土芸能とアートの親和性」など「八戸の独自性が生み出してきたもの」について説明があり、「ここ10数年で複合の文化・スポーツ施設が整備された八戸。今後いかにして地域に根付く『文化』と、市民のポジティブなエネルギーや創造力を引き出し続けることができるか、その次のステー



パネルディスカッション

ジのスタートラインに、今まさに立っているように思う。」等と話をされた。

松橋崇史氏からは「地域活性化におけるスポーツの役割とその変化」として、「地域活性化とトップスポーツクラブ」、「地域活性化とスポーツ政策」、「『全力』を可視化するスポーツ」、「多様性を体現するスポーツ」等についての説明があり、「スポーツを地域活性化に活かしていく視点が重要」等と話をされた。

頼重秀一沼津市長（沼津市人口188, 180人 令和5年10月1日現在）からは「スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出～誇り高い沼津を目指して～」と題し、スポーツを活かしたまちづくりとして「フェンシングのまち沼津」や「サイクリストフレンドリエリア沼津」、「プロスポーツが楽しめるまち沼津」、そして「アニメ『ラブライブ！サンシャイン!!』を活かしたまちづくり」などの取り組みが説明され「スポーツ・アニメを通じた取り組みを加速させ、まちが活気と魅力にあふれ、市民一人ひとりがまちに誇りを持ち、いつまでも輝き続けるまちとして、次の100年への新たな一步を力強く踏み出してまいります。」等と話をされた。

山崎善也綾部市長（綾部市人口30, 568人 令和5年10月1日現在）からは「文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部」と題し、「市民一人1文化」を推進することにより文化のかおるまちづくりを目指し「合唱のまち・綾部」の取り組みや、「市民一人1スポーツ」の実現を目指して、自治会等対抗ソフトボール大会や市民駅伝競走大会など地域に根ざしたスポーツ大会のほか、サイクリング、カヌー、トレッキングなど豊かな自然を活用したスポーツ観光の推進とともにスポーツによるまちづくりの取り組みについて説明があった。その上で「まずは住民自身がそれぞれの地域に誇りを持たない限り、定住や交流の促進は覚束なく、その土地を訪ねてきた人に対して住民が自信を持って自分たちのまちの素晴らしさを語ることから、地方創生は始まる。文化芸術やスポーツの魅力や価値を最大限活用することは、まさにそれを実現できる『鍵』になると確信しています。」等と話をされた。

パネルディスカッションを通して、文化芸術・スポーツが都市の魅力を生み出し、地域の発展には文化芸術・スポーツが重要であることを改めて認識することが出来た。

おわりに

この間、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックが文化芸術・スポーツに深刻な打撃を与え、活動それ自体が時には「不要不急のもの」と厳しく制限され、文化芸術・スポーツを通じて人々が“つながりあう”ことが困難な時期が長く続いた。アフターコロナ・ポストコロナの動きが本格化している今、目の前で繰り広げられるリアルな体験の重要性が再認識されている。

文化芸術・スポーツは、市民の生活に豊かさや潤いをもたらすと同時に、人々の間につながりを生み出し、それが都市のにぎわいを醸し出し、やがては都市の“顔”を形作る。

全国における「文化芸術・スポーツによる都市の魅力と発展」の取り組みは大変参考になった。

今回の研修で学んだことを今後の議会活動、本市のまちづくりに活かしていきたい。

2023 年度

政務活動費支出伝票 (一般)

会派名 民進市民ネット

伝票番号

40

支出年月日	区 分		
2023 年 9 月 27 日	調査研究費・研修費・ <u>広報広聴費</u> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 (有)パピエ吉田 吉田紙店		支払金額 ¥3,465	
摘要 (品名)	数量	単価	金額
2023年9月27日 A4用紙 (1000枚)	1	3465	¥3,465

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと (重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 書

民進市民ネット

様

5 年 9 月 27 日

¥3,465

但 2023年9月27日
上記正に領収いたしました A4 1000枚

(有)パピエ吉田

吉 田 紙 店

〒040-0073 函館市宮前町23番13号

TEL0138-41-2310 FAX0138-41-8555

e-mail: [REDACTED]

函館市議会議員(民主・市民ネット)

みつけひろやすニュース

連絡事務所:函館市人見町19-14 電話:0138-51-9717

■第3回定例会



第3回定例会は9月1日から19日の日程で開催されました。2023年度函館市一般会計補正予算、工事請負契約(市営大川団地4号棟新築工事)、土地の売り払いの他、教育委員会委員の任命など議案16件が可決や同意され、2022年度函館市一般会計決算など14件の決算は認定となりました。

意見書は「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」、「燃料油価格の高騰への対処を求める意見書」(民主・市民ネット提出)、「アルプス処理水の海洋放出をただちに中止すると共に処理水削減の抜本的な対策を求める意見書」(日本共産党提出)の3件が提案され、いずれも可決となりました。特に処理水に関する意見書は民主・市民ネット、日本共産党に加え無所属の3名が賛成し可決されました。

■新幹線乗り入れ調査状況

新幹線函館駅乗入について現在調査中ですが、今年12月には中間報告、年度内には最終結果が示される予定です。

調査では函館駅・新函館北斗駅間を「新幹線フル規格車両を直接乗り入れる方式」と「ミニ新幹線車両を新函館北斗駅で切り離して乗り入れる方式」の2方式でそれぞれ整備費、技術面の課題、乗り入れによる効果など4項目について検討が行われています。進展がありましたら、改めてご報告いたします。私は函館駅への乗り入れに賛成の立場で調査結果を待ちたいと思います。

■小中学校へ冷房設置検討

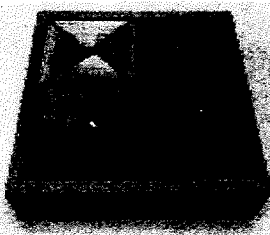
この猛暑を受けて多くの一般質問で学校での暑さ対策が取り上げられました。

市内の公立小中学校で冷房を設置しているのは小学校2校、中学校3校、高校1校。いずれも保健室や特別教室などで普通教室(全655教室)には1台も設置されていません。

答弁では来年度には何らかの対応をとることを明らかにしました。すべての普通教室に冷房を設置するためには工事費等で数十億円、加えて電気料金は数億円かかる見込みです。

■出生祝配布事業

2022年度から市内で生まれた新生児へ出生祝をお届けする事業が始まり、初年度は989名の子どもさんに届けられました。品物は道南スギを使った積み木で市内の事業者が制作しています。



同じように新生児一人一人へお祝い品を届ける「君の椅子プロジェクト」があります。このプロジェクトは2005年に東川町で始められ、届けられる椅子は毎年デザインが変わり、子どもさん一人一人の氏名、生年月日などが記されています。

函館のお祝いの積み木にも是非、名前や生年月日などを記載し、世界で唯一の存在であることを伝えたいと要望させていただきました。

苫小牧市では冷房設置よりも安価な移動式冷風機(スボットクーラー)の購入を決定しました。児童生徒の健康を守り、教育環境を整えるためには必要な事業です。これからもしっかりと進めて参ります。

7月・8月の活動



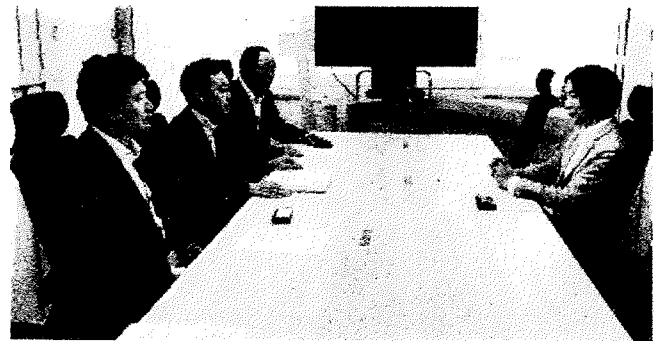
競馬場所在地都市議会 実行行動
8月2日 農水省畜産局競馬監督課



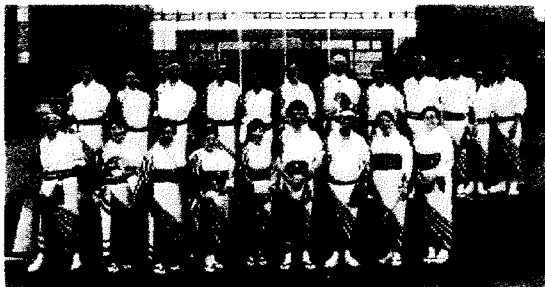
第31回市民のつどい 7月21日
函館市民会館



競馬場所在地都市議会 実行行動
8月2日 JRA(日本中央競馬会)



市・市議合合同要望 7月27日
(国交省鉄道局鉄道事業課長と面会)



ワッショイはこだて(千代台・五稜郭)
議員団参加者 8月3日



市・市議会合合同要望 7月27日
(吉田議長、大泉市長、財務省主計局長)

誰もが安心して暮らせる函館を!!